

経還和美

けい かん わ び

～時を経て自然に還ることで調和し、
一体となった美しさを生む建築～



歳を重ねることを恐れず、ありのままの姿で穏やかにその場に居続けることでやがては苔むして自然と同化しその場に還っていく姿は年を重ねるほど美しさを増していく。

経年して変化することで初めて建物が完成するともいえ、それはそこで生きる人と共に歩み重ねてきた歴史の産物である。

なんてことないただの峠の茶屋だが、長い年月をかけて初めて生み出される美しさを秘めている。

そんな想いをデザインした。